

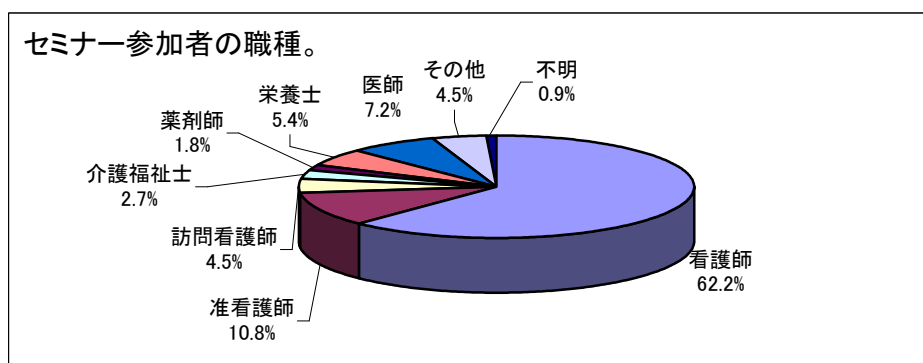
鳥取PDNセミナー(平成18年4月)

アンケート集計結果

回収サンプル数:111

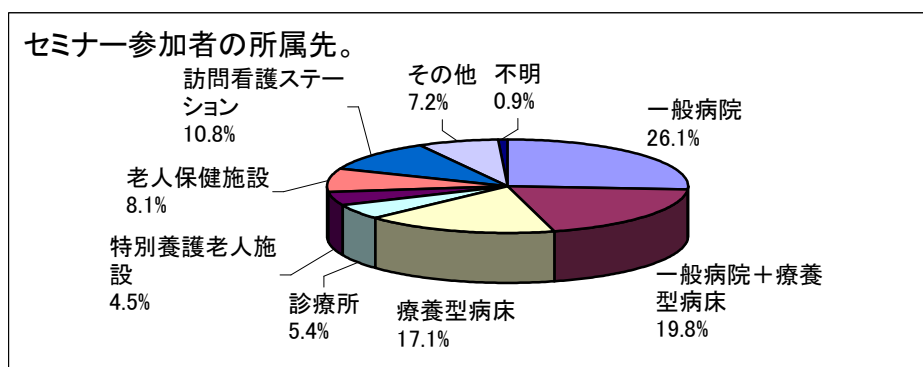
I. セミナー参加者のプロフィール。

□ 職種。



N=111

□ 所属先。



N=111

□ 所属先の所在地。

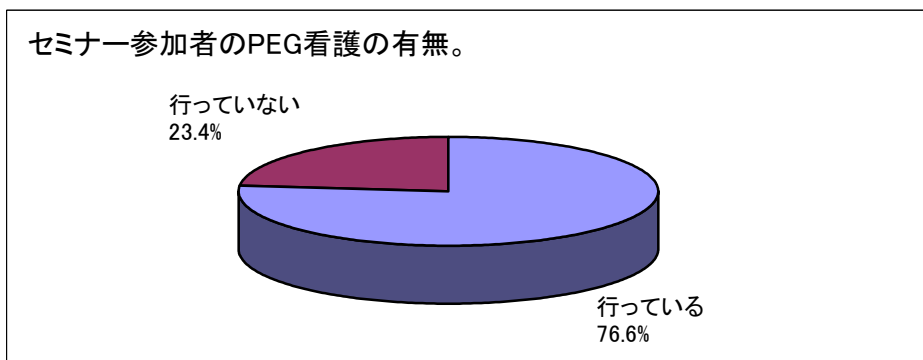
N 100%=	鳥取市	倉吉市	岩美町	三朝町	八頭町	若桜町	岡山・津山市
111	59 53.2	19 17.1	4 3.6	7 6.3	1 0.9	1 0.9	1 0.9

(つづき)

N 100%=	岡山・美作市	広島市	兵庫・豊岡市	不明
111	1 0.9	1 0.9	1 0.9	16 14.4

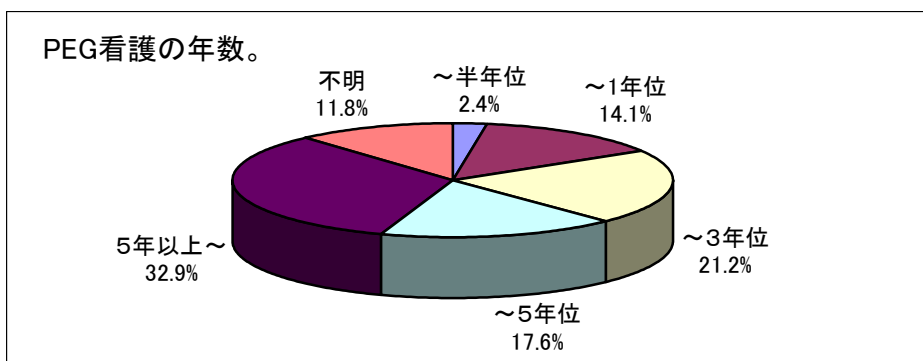
Ⅱ. セミナー参加者のPEGとの関わり。

□ PEG看護の有無。



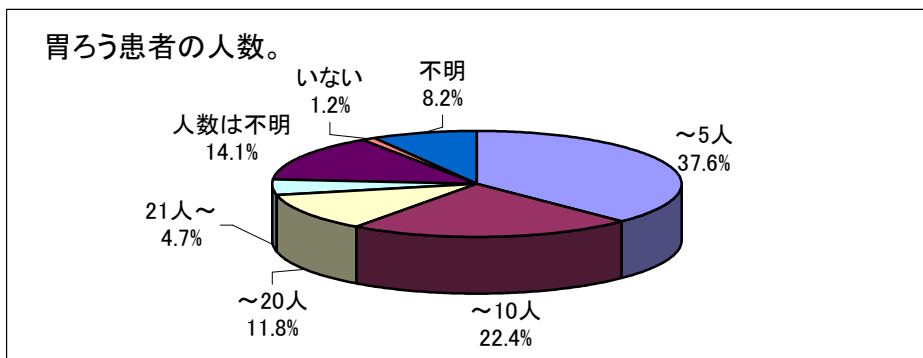
N=111

□ PEG看護の年数。



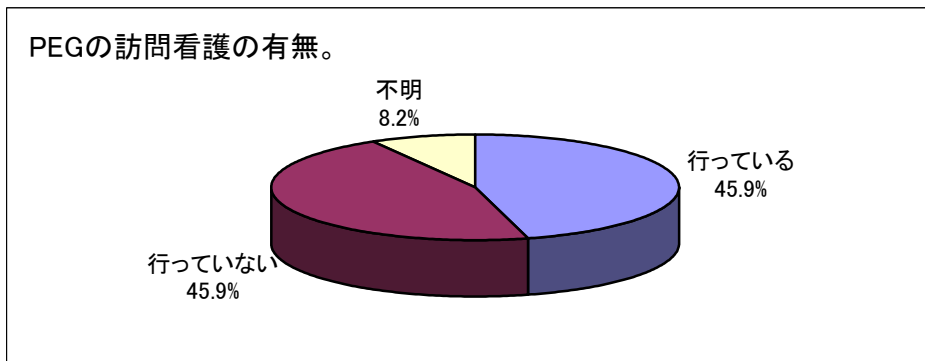
N=85

□ 胃ろう患者の人数。



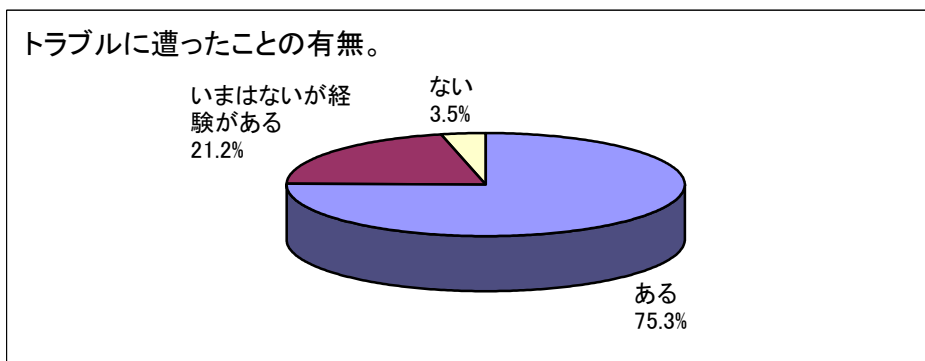
N=85

□ PEGの訪問看護の有無。



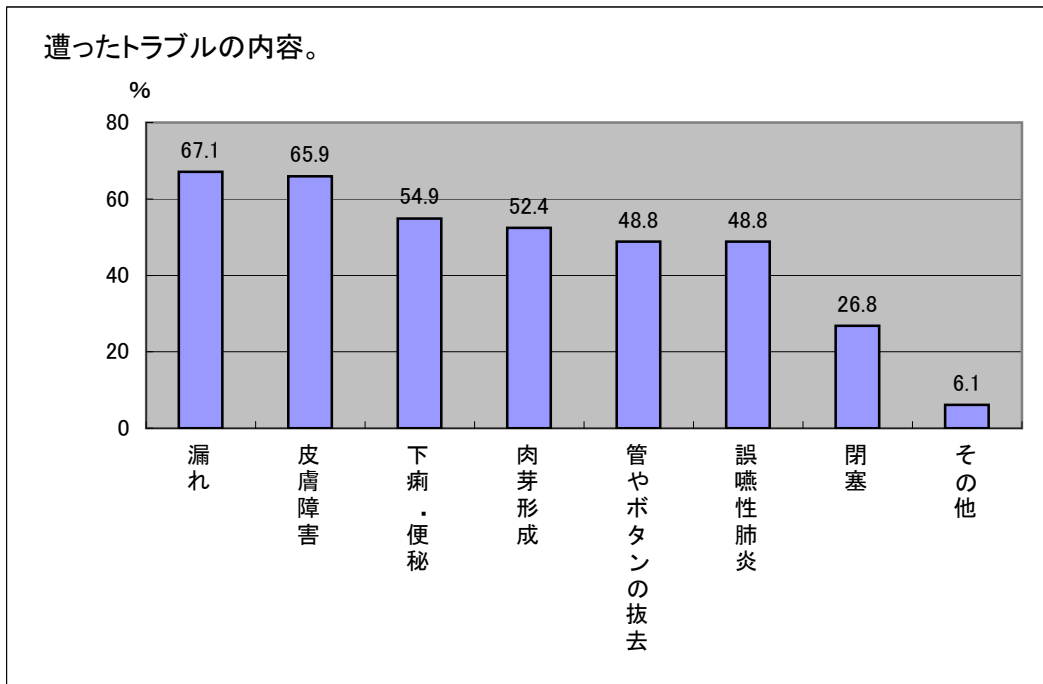
N=85

□ PEG看護でトラブルに遭ったことの有無。



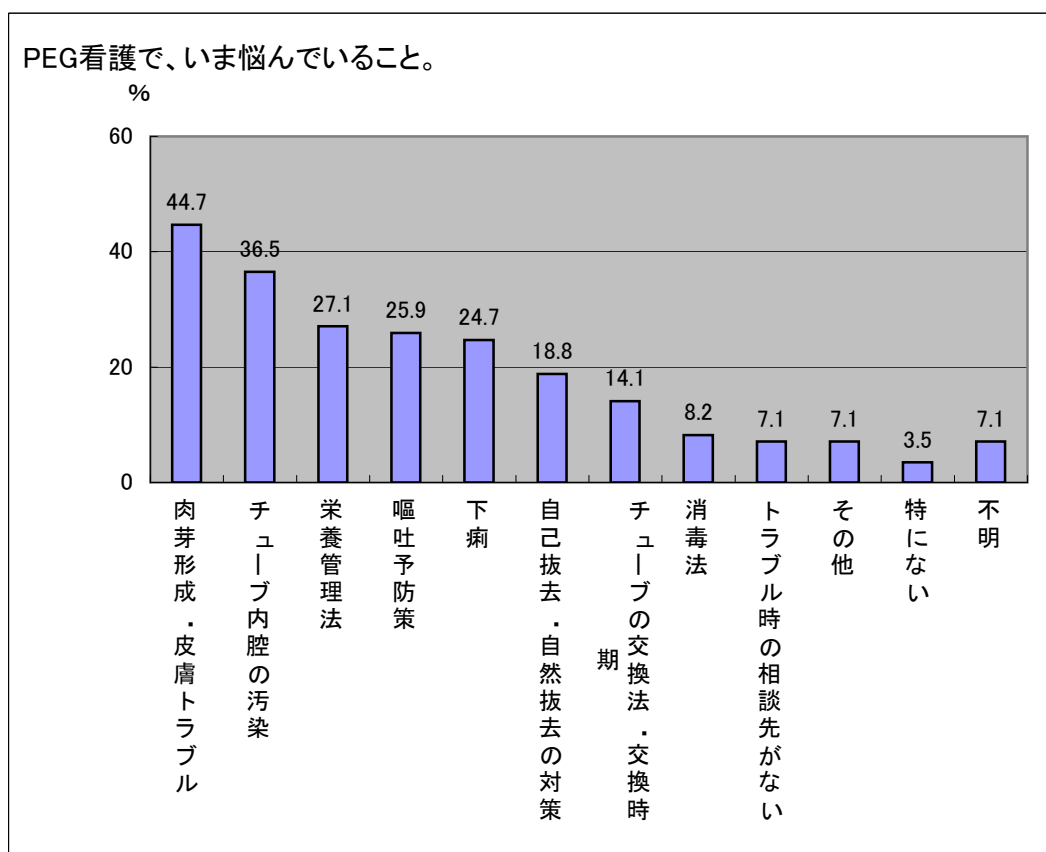
N=85

□ 遭ったトラブルの内容。(複数回答)



N=82

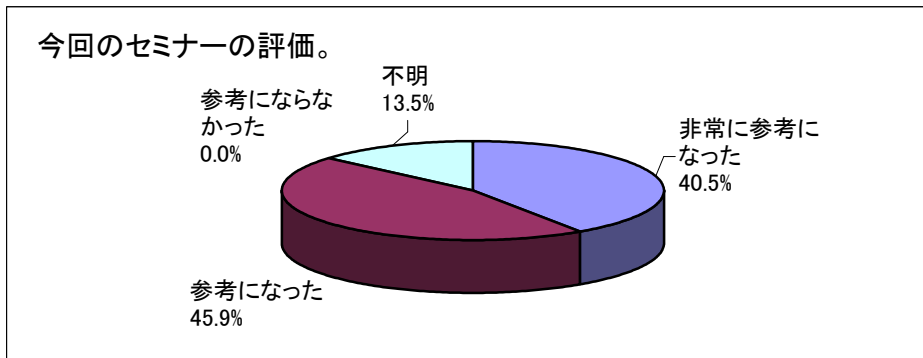
□ PEG看護の中で、いま悩んでいること。(複数回答)



N=85

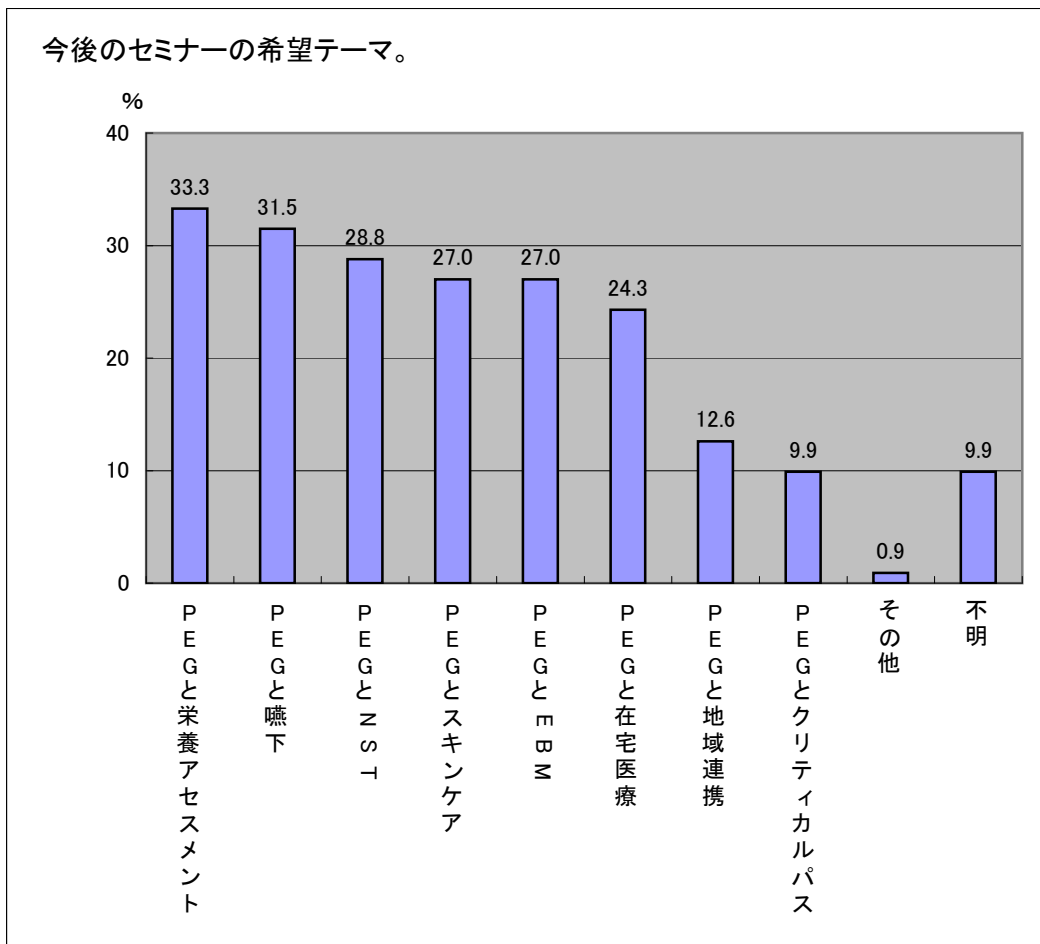
Ⅲ. セミナーの評価と希望。

□ 今回のセミナーの評価。



N=111

□ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=111

IV. 自由回答意見。

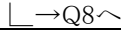
問. PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をおきかせください。

- PEGは世間一般ではやはり最後の手段というイメージが強い。しかし、セミナーでイメージが変わり、正しいPEGの活用法を伝えることの大切さがわかった。患者さんの人生に対する考え方を優先しなければならないが、PEGによって栄養状態が良くなり人生観が変わることもあると思った。PEGはトータルな評価が大切だ。(看護師、一般病院)
- 医師の根本的な考え方を変えていかないと難しいと思う。(看護師、一般病院)
- 医師の認識を変えていくことと、このようなセミナーに参加してPEGの目的や効果を実際に知っていくことが必要だ。(看護師、一般病院)
- 医療関係者が合併症やバリエーションについて正しい理解を持つことが必要だ。(医師、一般病院+療養型病床)
- 退院後の施設や在宅でその人がどう生活をしているかを含めて、「病院」はPEGを造設した後の長期管理についても責任を持ってフォローすべきだ。(医師、一般病院+療養型病床)
- NSTチームの活動に対する理解を医師に深めてもらうことが必要だ。(看護師、一般病院)
- 高齢者については、患者さんはもとよりご家族の方々に対し継続していくための管理や意義をうまく伝えて、十分な理解を得る必要がある。(看護師、療養型病床)
- スタッフ全員が同じレベルの知識・技術を持つことが必要。また、地域での連携も必要。(看護師、一般病院+療養型病床)
- 栄養の最終手段という事例が多い。PEGを選ばない終末があってもよいのではないか。家族も選べられるような説明があってもよい。(看護師、一般病院+療養型病床)
- 病院や施設内にポスターなどを貼って、誰でも理解できるような働きをした方がよい。また、胃ろうにもパスがあることを知って驚いた。医療者間で統一した医療・介護が栄養面で行きやすくなると思った。(看護大生)
- PEGに対する正しい知識や考え方を普及させ、正しい対応ができることが必要。(看護師、療養型病床)
- デイサービスでも受け入れようと思い参加した。PEG看護が初めての人を対象にした勉強会をやってほしい。(看護師、デイサービス)
- PEG造設に関わる内視鏡室に勤務しているが、PEGの対象患者は最終手段であり明るい未来を感じてこなかった。きょうのセミナーでNSTと合わせてうまく管理していけば、患者を十分に元気にさせることができるんだということ強く感じた。これからもPEGを深く理解できるように勉強したい。(看護師、一般病院+療養型病床)
- 正しい知識を習得するためにセミナーや勉強会に参加することが必要。(看護師、老人保健施設)
- 栄養状態が極度に悪化してギリギリになってPEG造設⇒合併症⇒死亡というパターンがマイナスイメージを強めている。医療スタッフが栄養状態改善の手段であるというきちんとした認識を持って、そういう症例を増やしていくことが必要だと感じた。(看護師、診療所)
- PEGを管理できる在宅医が少ない。(訪問看護師、訪問看護ステーション)
- 個人医院ではPEGに対する理解が不足している。(訪問看護師、訪問看護ステーション)
- 医療スタッフのPEGの知識をもっと普及させる必要がある。(看護師、療養型病床)
- 通所施設でのPEGのトラブル対策も知りたい。(准看護師、特別養護老人施設)
- 通所施設でのPEGの注入と管理も知りたい。(准看護師、通所介護サービス)
- PEG適応の理解をもっと深めないと、PEG導入の時期が遅れてしまい、結局PEGはうまくいかないというイメージになってしまう。(看護師、一般病院)
- 胃ろうは最後の手段でなく、栄養を補いながら経口摂取訓練をしていけば良くなるという考え方を啓発していく必要がある。(看護師、一般病院)
- PEGに対する正しい知識や考え方を高めることと地域での連携が大切。(看護師、老人保健施設)
- PEGに対するモチベーションを高めていくことが必要。(看護師、一般病院)
- 「食べられるかどうか」「誤嚥」「NST」「褥瘡」という点を解決していく必要がある。(医師、一般病院)
- スタッフ全員が同じレベルの知識・技術を持つことが必要。また、地域での連携が重要なことだと思う。また、会場は看護協会会館にしてほしい。(看護師、一般病院+療養型病床)
- きょうのレジメが欲しい。スタッフ教育に利用したいので。(医師、診療所)
- きょうのレジメが欲しい。(看護師、一般病院+療養型病床)
- 他のスタッフにも伝えたいのできょうのレジメが欲しい。また、会場の空調が寒すぎた。(看護師、特別養護老人施設)
- 30分間の休憩は不要だった。(看護師、一般病院)

回収サンプル数:111

Q1.あなたは、現在、PEGの看護を行っていますか？(N=111)

1. 行っている(76.6%) 2. 行っていない(23.4%)



Q2.PEGの看護を行うようになってから何年になりますか？(N=85)

1. ~半年位(2.4%) 2. ~1年位(14.1%) 3. ~3年位(21.2%) 4. ~5年位(17.6%)
5. 5年以上~(32.9%) 不明(11.8%)

Q3.現在、胃ろうを入れられた患者様は御施設に何人いらっしゃいますか？(N=85)

1. ~5人(37.6%) 2. ~10人(22.4%) 3. ~20人(11.8%) 4. 21人~(4.7%)
5. 患者様はいるが人数は不明(14.1%) 6. いない(1.2%) 不明(8.2%)

Q4.御施設ではPEGの訪問看護を行っていますか？(N=85)

1. 行っている(45.9%) 2. 行っていない(45.9%) 不明(8.2%)

Q5.看護の中で、トラブルにあったことがありますか？(N=85)

1. ある(75.3%) 2. いまはないが経験がある(21.2%) 3. ない(3.5%)



Q6.どんなトラブルでしたか？(複数回答、N=82)

1. 肉芽形成(52.4%) 2. 皮膚障害(65.9%) 3. 誤嚥性肺炎(48.8%)
4. 漏れ(67.1%) 5. 閉塞(26.8%) 6. 下痢・便秘(54.9%) 7. 管やボタンの抜去(48.8%) 8. その他(6.1%)

Q7.看護の中で、いま悩んでいるものはどれですか？(複数回答、N=85)

1. 自己抜去・自然抜去の対策(18.8%) 2. チューブの交換法・交換時期(14.1%) 3. チューブ内腔の汚染(36.5%) 4. 消毒法(8.2%) 5. 肉芽形成・皮膚トラブル(44.7%) 6. 嘔吐予防策(25.9%)
7. 栄養管理法(27.1%) 8. 下痢(24.7%) 9. トラブル時の相談先がない(7.1%) 10. その他(7.1%) 11. 特にない(3.5%) 不明(7.1%)

Q8.きょうのセミナーは参考になりましたか？(N=111)

1. 非常に参考になった(40.5%) 2. 参考になった(45.9%) 3. 参考にならなかった(0.0%) 不明(13.5%)

Q9.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(N=111)

1. PEGと嚥下(31.5%) 2. PEGと栄養アセスメント(33.3%) 3. PEGとスキンケア(27.0%) 4. PEGと在宅医療(24.3%) 5. PEGとNST(28.8%) 6. PEGとクリティカルパス(9.9%) 7. PEGと地域連携(12.6%) 8. PEGとEBM(27.0%) 9. その他(0.9%) 不明(9.9%)

Q10.あなたの職種は？(N=111)

1. 看護師(62.2%) 2. 准看護師(10.8%) 3. 訪問看護師(4.5%) 4. 介護福祉士(2.7%) 5. 薬剤師(1.8%) 6. 栄養士(5.4%) 7. 言語聴覚士(0.0%) 8. 理学療法士(0.0%) 9. 臨床心理士(0.0%) 10. 医師(7.2%) 11. その他(4.5%) 不明(0.9%)

Q11.あなたの所属先は？(N=111)

1. 一般病院(26.1%) 2. 一般病院+療養型病床(19.8%) 3. 診療所(5.4%) 4. 療養型病床(17.1%) 5. 特別養護老人施設(4.5%) 6. 老人保健施設(8.1%) 7. リハビリテーション専門病院(0.0%) 8. 訪問看護ステーション(10.8%) 9. その他(7.2%) 不明(0.9%)

Q12.所属先の所在地は？

Q13.PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をおきかせください。